

# 感染トピックス 2020/6月号

2020/6/11 発行

医療関係者は、仕事柄ウイルスに曝露する機会があります。

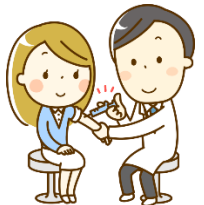
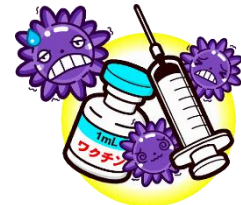
抗体を保持していないワクチン未接種の医療従事者が、麻疹や水痘などの患者に無防備に曝露すると、医療従事者自身が発症して入院患者にウイルスを伝播させる可能性があります。自身の身を守るとともに周囲の患者やスタッフへの感染を防止するために、抗体を獲得したうえで勤務することが重要です。



この度、正規職員は4種のウイルス抗体価検査を実施しました。以下の判定基準と比較して抗体のない方はワクチン接種を推奨します。ただし、過去にワクチンを2回接種済みの方は免除されます。タンスの奥にしまってある？母子手帳で確認してみてください。

★曝露した場合、以下のように緊急ワクチン接種と感染予防策を行わなくてはなりません。

抗体があれば安心して業務を遂行できますよね。



	麻疹	水痘	風疹	流行性耳下腺炎
潜伏期間	5～21日	14～16日	14～16日	16～18日
感染性期間 (感染性のある期間)	発熱、結膜症状、咳などの症状出現2日前から発疹出現後5日目まで	発熱、発疹などの症状出現2日前からすべての発疹が痂皮化するまで	発熱、発疹の症状出現7日前から発疹出現後7日目まで	耳下腺の腫脹7日前から腫脹後9日目まで
就業制限	最初の曝露後5日目から最後の曝露後21日目まで	最初の曝露後10日目から最後の曝露後21日目まで	最初の曝露後7日目から最後の曝露後21日目まで	最初の曝露後12日目から最後の曝露後26日目まで
緊急ワクチン接種	効果あり (72時間以内)	効果あり (72時間以内)	効果なし	効果なし
隔離予防策	空気予防策	接触・空気予防策	飛沫予防策	飛沫予防策

## ●抗体検査結果と判定基準

疾患名	判定	陰性 (-)	基準以下 (±) ~ (+)	陽性 (+)
	ワクチン接種	2回接種	1回接種	必要なし
風疹ウイルス	HI法	8倍未満	8倍、16倍	32倍以上
水痘・带状疱疹 IgG	EIA-IgG	2.0未満	2.0~3.9	4.0以上
ムンプスウイルス IgG	EIA-IgG	2.0未満	2.0~3.9	4.0以上
麻疹ウイルス IgG	EIA-IgG	2.0未満	2.0~15.9	16.0以上

〔参考文献：医療関係者のためのワクチンガイドライン第3版、日本環境感染学会 2019〕